

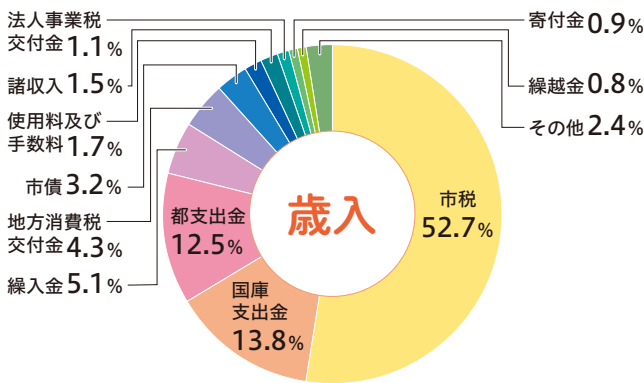
市民の命を守るまちづくり 次世代に平和な未来をつなぐ予算

一般会計予算 **880億2800万円** [前年度比65億500万円増]

令和7年度の一般会計の予算規模は、前年度比8.0%、65億500万円増の880億2800万円となりました。第六期長期計画・第二次調整計画に掲げられた優先事項を着実に推進するとともに、新たな課題に対応することにより持続可能な市政運営を行っていきけるよう、限られた財源を真に必要性・緊急性が高い事業に重点的かつ効率的に配分することを基本に編成しました。

予算とは、4月から翌年3月の会計年度における収支（歳入・歳出）の見積もりで、その年度に実施する行政サービスの内容や費用を表しています。地方自治法などに基づいて市議会に予算案を提出し、3月の市議会にて審議されます。

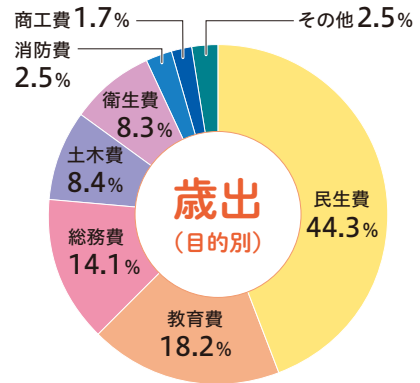
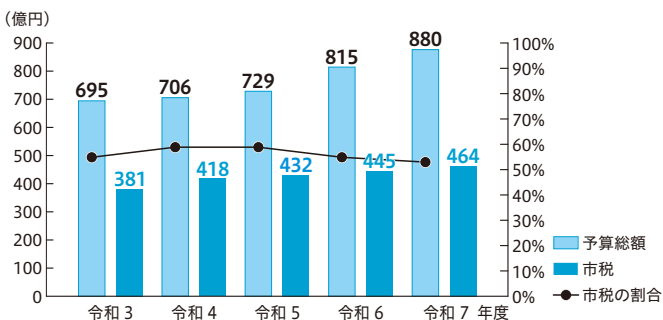
一般会計歳入・歳出予算



■市税の内訳

	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
個人市民税	199億 205万円	184億 8839万円	14億 1366万円	7.6%
法人市民税	28億 6656万円	23億 1910万円	5億 4746万円	23.6%
固定資産税	189億 2032万円	190億 9317万円	△1億 7285万円	△0.9%
都市計画税	31億 4713万円	30億 7420万円	7293万円	2.4%
その他	15億 5772万円	15億 5510万円	261万円	0.2%
合計	463億 9378万円	445億 2996万円	18億 6381万円	4.2%

■予算総額と市税予算額の推移（一般会計）



■主な行政目的の説明

民生費	社会福祉、高齢者福祉、児童福祉、生活保護などの経費、保育施設や福祉施設の経費など
教育費	市立小中学校の管理運営、図書館・武蔵野プレイス・総合体育館などの管理運営に要する経費など
総務費	企画、財務、徴税、統計、住民票・戸籍などの経費、庁舎や市民文化会館などの維持管理、人件費など
土木費	道路・公園の整備や維持管理、計画的なまちづくりに要する経費など
衛生費	各種検診や予防接種などの保健・医療・健康づくり事業、ごみの収集・処理、公害対策に要する経費など

■主な性質別予算構成比

物件費	26.1%	委託料、光熱水費、消耗品費など
扶助費	24.3%	福祉、医療給付費など
投資的経費	14.6%	公共施設や道路の整備など
人件費	13.2%	職員給与、議員報酬など
補助費等	11.7%	市民や各種団体への補助金など
繰出金	6.6%	特別会計に繰り出す負担金など
公債費	1.6%	市債（市の借金）の返済など
その他	1.9%	維持修繕、貸付金、積立金など

市民 1人当たりの 予算額（一般会計）

武蔵野市の人口
14万8034人
令和7年1月1日現在

1人当たりの予算額
59万4647円
[55万1543円]

※[]は前年度予算
(令和6年度予算は修正可決
後の金額)

■高齢者、障害者福祉
などのために

14万6098円
[13万7043円]



■子育て支援の
ために

12万4992円
[11万3920円]



■学校教育、図書館や
スポーツ振興のために

10万7954円
[9万9436円]



■行政運営のために

5万8098円
[5万4506円]



■道路、公園整備など
まちづくりのために

5万721円
[4万2048円]



■市民の健康を守る
ために

2万4983円
[2万4068円]



■ごみ処理、環境保全の
ために

2万4509円
[2万3014円]



■コミュニティ、文化、
国際交流のために

1万6702円
[2万2851円]



■消防、災害対策、
防犯のために

1万6231円
[1万5757円]



■商業振興、消費者
保護のために

1万145円
[4706円]



■市債（市の借金）の
返済のために

9278円
[8657円]



■市議会運営の
ために

3210円
[3226円]



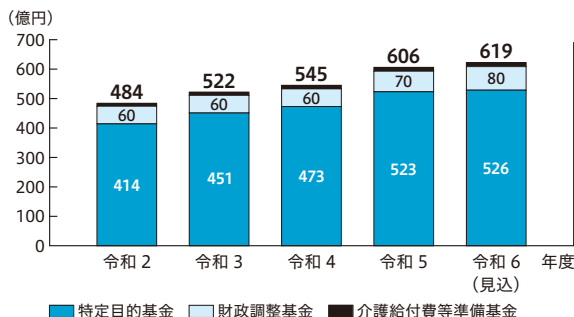
■その他

1726円
[2211円]



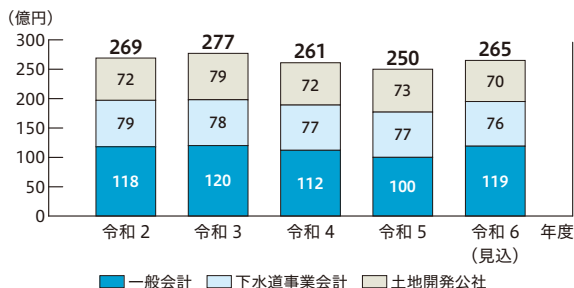
※「防犯」については、前年度分を含めて「ごみ処理、環境保全のために」から「消防、災害対策、防犯のために」に移動しました。

基金（貯金）の状況



※経済事情の著しい変動などによる財源不足や災害への対応のための財政調整基金、老朽化した施設の更新、公園や都市インフラの整備などのための特定目的基金など、各目的に応じた基金を設け、積み立てをしています。

市債など（借入金）の状況



※学校や公園、道路など長年にわたり使用する施設の建設費や土地購入費の資金を借入れ、毎年公債費として返済をしています。多額な支出による財政負担を年度間で平準化すること、将来の市民にも公平に費用を負担していただくという考えにより、借入れを行っています。

会計別予算額

会計名	令和7年度	令和6年度	増減率
一般会計	880億2800万円	815億2300万円	8.0%
国民健康保険事業会計	138億8600万円	144億2999万円	△3.8%
後期高齢者医療会計	46億930万円	44億7378万円	3.0%
介護保険事業会計	131億6811万円	129億2807万円	1.9%

水道事業会計予算額

区分	令和7年度	令和6年度	増減率
収益的収入	56億256万円	38億4629万円	45.7%
収益的支出	54億4840万円	37億9597万円	43.5%
資本的収入	3億8935万円	3億8228万円	1.9%
資本的支出	10億6565万円	10億1766万円	4.7%

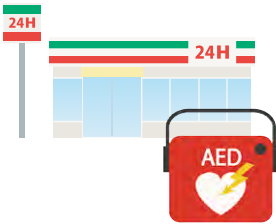
下水道事業会計予算額

区分	令和7年度	令和6年度	増減率
収益的収入	30億6959万円	29億393万円	5.7%
収益的支出	30億659万円	28億3152万円	6.2%
資本的収入	6億5219万円	6億5174万円	0.1%
資本的支出	10億7006万円	10億6199万円	0.8%

※ページ内の各表では、表示単位未満を四捨五入しているため、表内の増減率や合計が一致しない場合があります。

新規

■ 24時間利用可能なAEDの設置



〈総務費〉 **305万円**

市と事業者との包括連携協定を活用し、市内のコンビニエンスストアにAEDを設置します。

吉祥寺のまちづくりを次の段階へ進めます①

吉祥寺パークエリアで、公共交通利用者や歩行者の安全で円滑な歩行環境の確保をはじめ、まちの魅力の向上に向けて、将来像などの策定に取り組みます。

レベルアップ

■ 吉祥寺パークエリアまちの将来像の立案および地域展開

〈総務費〉* **5125万円**

まちづくりへの機運醸成に向けた社会実験の実施や、まちの再整備を目指し、市民やまちの関係者間の対話を通じた将来像立案に着手します。

継続

■ 吉祥寺駅南口周辺交通体系検討

〈土木費〉 **1229万円**

「吉祥寺駅南口交通環境基本方針」の策定に向けた検討を行います。



「吉祥寺駅南口交通環境基本方針」の策定に向けた考え方より

予算のポイントや特徴ある事業などをまとめた「施政方針」や、前年度との比較、主要な施策予算一覧、市民施設の概要などをまとめた「予算参考資料」を市ホームページで公開しています。



令和7年度施政方針・予算参考資料

新規 新規事業

継続 継続事業

レベルアップ 拡大・充実事業

(予算額に「*」のある事業は既存事業費を含む)

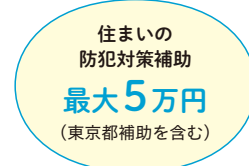
市民の命を守る取り組みを推進します

防犯・防災対策の支援など、全市民の命と安全・安心な暮らしを守る取り組みをさらに推進します。

新規

■ まちぐるみで犯罪ゼロを目指す！ 防犯対策などの推進

〈総務費〉 **1521万円**



住まいの防犯対策（防犯カメラ、カメラ付きインターホンの設置など）に係る費用を補助します。引き続き、間バイト・強盗ゼロに向けた啓発も行います。

※東京都補助事業を活用して行うため、内容を変更する場合があります。



新規

■ 携帯トイレ備蓄に関する意識啓発

〈消防費〉 **2626万円**



災害時における「自助」の力を高め、在宅避難を推進するため、市民の防災備蓄に関する意識を高めます。

内容

携帯トイレの無料配布
※全世帯に引換券（1人当たり5回分）を配布。

対象

市民

レベルアップ

戦後80年にあたり平和啓発を充実します

〈総務費〉＊752万円

今年は戦後80年の大きな節目の年です。二度と戦争を繰り返さないため、全市民を対象として戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えていく平和啓発を推進します。



令和4年度 武蔵野市青少年平和交流派遣団の様子

新規

走り続けて30年 さらに愛されるムーバスを目指します

〈土木費〉605万円

コミュニティバス「ムーバス」は、令和7年11月に1号路線（吉祥寺東循環）の運行開始から30周年を迎えます。年間を通じて、さまざまな記念事業などを実施します。

もっと便利に

次に来るバスの運行状況を表示するデジタルモニターを吉祥寺駅北口のバス停に設置し、利便性の向上を図ります。

デザインマンホール設置

ムーバスデザインのマンホール蓋を吉祥寺駅北口付近に設置します。マンホールカードも発行予定です。



吉祥寺駅北口とムーバス（20周年当時）

吉祥寺のまちづくりを 次の段階へ進めます②

吉祥寺イーストエリアにおいて、本町コミュニティセンター移転に合わせた施設複合化の検討や喫煙所の設置などによる環境美化を進め、安全・安心なまちづくりを推進していきます。

新規

■ 本町コミュニティセンター移転 および複合化施設整備の推進

〈総務費〉3818万円

コミュニティセンター、中高生世代の居場所、にぎわい機能などを複合化した施設の基本設計を実施します。



レベルアップ

■ 喫煙所の設置と路上禁煙地区の追加指定

〈衛生費〉＊5581万円

令和7年4月から喫煙所（喫煙トレーラーハウス）を1カ所設置するとともに、路上禁煙地区を追加指定し、まちの美化、受動喫煙対策を推進します。



喫煙トレーラーハウス（吉祥寺駅南口）

DXでさらに便利な市役所を目指します

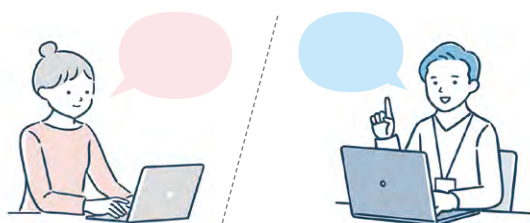
デジタル技術を活用してDXを推進し、市民サービスの向上を図ります。

新規

■ オンライン相談システムの導入

〈総務費〉150万円

法律相談や保育園入園に関する相談などについて、予約から相談開始までを利用者が簡単にできるシステムを導入し、市役所に行かなくても相談できるようにします。

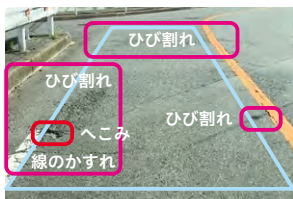


新規

■ 道路の自動点検システムの試行

〈土木費〉401万円

AI技術を活用した自動点検システムを試行導入し、より一層の安全・安心な道路サービスを提供するとともに、維持管理コストの削減や業務効率化を図ります。



スマートフォンを取り付けた車両で走行し、路面のへこみ、ひび割れなどをAIで検出



新規

■ 保育施設の一時預かり事業へのWEB予約システムの導入

〈民生費〉369万円



一時預かり事業の様子

WEB予約システムを導入し、市内の一時預かり事業の情報を一元管理することで、保護者の利便性向上と職員の業務効率化を図ります。

レベルアップ

私立幼稚園などに通う子どもたちの保護者に対する補助金を拡充します

〈総務費〉*1億1424万円

幼児期は、子どもにとって最も重要な発達時期の一つです。保護者の負担軽減とともに、私立幼稚園などの幼児教育の充実を図るため、補助金を増額します。

対象

私立幼稚園、認定こども園などに通う市内在住の幼児

補助上限額

月額4000円 ▶ 5000円



※東京都補助金と併せて支給します。【月額1800円～6200円】保護者の住民税所得割額に応じて補助額が異なります。

森の恵みを感じ、日々の暮らしの中で緑を楽しむ機会を創出します

遠野市の木材を活用し、木製品とのふれあいを通じて、木材の良さや役割を学ぶ木育を推進します。同時に、今ある緑を守りながら、質の高い緑空間を創出します。

新規

■ 『遠野の森』木製おもちゃの誕生祝い品贈呈

〈衛生費〉460万円



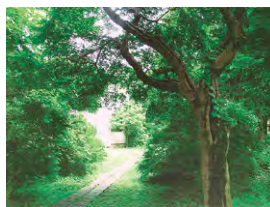
木製おもちゃ（イメージ）

森林環境譲与税を活用し、新たに市民となるお子さんの誕生祝い品として、友好都市・遠野市の木材で作ったおもちゃを贈呈します。

新規

■ 既存の緑を生かした十一小路緑地の整備

〈土木費〉2億5424万円



整備予定地に残る既存樹木

吉祥寺東町2丁目に、防火水槽も備えた「十一小路緑地」を整備します。既存樹木を生かした緑豊かな憩いの空間を創出します。

レベルアップ

地域と共により良い学校づくりを推進します

〈教育費〉＊1844万円

学校・家庭・地域などさまざまな立場から求められる学校の姿を話し合い、その実現に向けて取り組む新たな「開かれた学校づくり協議会」を市立小・中学校全校に拡充します。地域の特色を生かした学校づくりをさらに推進します。



新たな「開かれた学校づくり協議会」

学校運営のパートナーとして、地域が主体的に学校づくりに参加する仕組み。学校長をはじめとする多様な委員12名が、学校運営について継続的に熟議します。令和6年度まではモデル校2校で試行的に活動してきました。



モデル校での協議会の様子

市の予算に関する資料は、市役所市政資料コーナーやホームページなどでご覧いただけます。

新規

■ 地域子ども館におけるDXの推進

〈民生費〉669万円



学童クラブの様子

学童クラブに児童の入退室管理や保護者との連絡機能を有したシステム、あそべえ・学童クラブにファイルサーバーを導入し、保護者の利便性向上と職員の業務効率化を図ります。

レベルアップ

一人ひとりのニーズに合わせたシームレスな就労支援を推進します

〈民生費・総務費〉＊2693万円

生活困窮者向けの就労準備支援や市役所で受け入れる障害者実習など、就労に困難さを抱える方を対象とする既存の取り組みを整理し、一人ひとりのニーズに合わせた一体的な就労支援を推進します。

一人ひとりに合わせた切れ目ない支援へ

「働く」ことに何らかの困難さを抱える方へ、仕事スキル習得の場の提供や仕事へのマッチング、受入先の開拓など、一体的な支援を行います。



専用ワーキングスペースを新設

障害者雇用や障害者実習、就労を目標とした作業を行うための新たなワーキングスペースを市役所庁舎内に新設します。

